

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(令和元年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立科学館	所管課	教育委員会 生涯学習課
所在地	甲府市愛宕町358-1	設置年月日 (改築年月日等)	平成10年7月20日
管理方式	山梨科学推進グループ		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立科学館設置及び管理条例		
設置目的	青少年をはじめとする県民の科学に対する関心と理解を深め、豊かな感性と創造性を育み、もって教育及び文化の発展に寄与する。		
主な施設内容 (定員等)	○敷地面積:1,194㎡ ○建築延面積:6,497.61㎡ ○建物の構造:鉄筋コンクリート造(一部鉄骨・一部木造) 地下1階、地上3階 ○施設の内容 展示室・多目的ホール・あそびの部屋 2,568㎡ スペースシアター 693㎡ (定員180席) 実験・工作室 328㎡ 天体観測室・展望テラス・サイエンスショーブース・エントランス等 2,909㎡		
主な業務内容	(1)利用の承認に関する業務 (2)施設及び設備器具の維持保全に関する業務 (3)施設の利用に関する必要な助言、指導等に関する業務 (4)科学に関する展示及び講演会、催し等の実施に関する業務		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	
------------------------------	--

3 利用状況

単位:人、%

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (目標値)
利用者数	入館者	168,660	154,874	140,703	186,640
	(うちスペースシアター)	50,970	48,831	49,809	68,050
	(うち主催事業参加者)	278,517	232,828	193,369	250,000
	(うち学習利用者)	16,322	13,609	12,378	14,700
	利用者数合計	514,469	450,142	396,259	519,390
	目標値	170,000	170,000	182,073	186,640
	目標値設定の考え方及びその理由	平成29年度の入館者数168,660人を参考に、グループが運営する他館の実績を加味して設定したもの (入館者数182,073人 プラネタリウム観覧者数66,270人)			
	対平成29年度比		87.5%	77.0%	101.0%
利用率	535人/日	511人/日	486/日		

4 指定管理業務の収支状況

単位:円、%

		平成30年度	令和元年度 (計画値)	令和元年度 (実績値)	令和2年度 (計画値)
収入	施設利用料	39,062,907	52,282,000	39,301,190	54,818,000
	指定管理者委託料	327,121,000	297,620,000	300,317,624	296,198,000
	その他	9,158,139	28,618,000	17,667,713	29,017,000
	収入合計(A)	375,342,046	378,520,000	357,286,527	380,033,000
支出	人件費	124,489,818	122,584,000	115,684,119	124,537,000
	県への納付金				
	管理運営費	230,723,973	255,936,000	240,710,711	255,495,000
	うち外部委託費(B)	93,041,587	116,697,000	114,394,360	110,152,000
支出合計(C)	355,213,791	378,520,000	356,394,830	490,184,000	
収支差額(A-C)	20,128,255		891,697		
外部委託比率(B÷C)	26.2%	30.8%	32.1%	22.5%	
利用者一人当たりの経費	2,112.2	1,634.6	2,134.4	1,587.0	

5 利用者満足度(アンケート様式は別添のとおり)

実施方法等	平成31年4月～令和2年2月(令和2年3月は休館) スペースシアター・実験工作室・あそびの部屋等の事業毎の参加者並びに団体利用者や一般利用者にアンケート調査を実施した。 利用140,703名中:7,569名・団体及び学習利用者:85件
--------------	---

単位:%

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
施設全体	70.0%	28.0%	2.0%	
スペースシアター	67.0%	31.0%	2.0%	
実験教室	80.0%	19.0%	1.0%	
工作教室	84.0%	15.0%	1.0%	
こどもクラフト	77.0%	22.0%	1.0%	
プログラミング教室	90.0%	9.0%	1.0%	
施設全般の満足度	90.0%	6.0%	3.0%	1.0%

利用者の意見	施設・設備の老朽化や展示物の更新、混雑時の駐車場対応や飲食・休憩スペースの増設、教室等でのプログラムの多様化や充実、団体予約の拡充等を求める意見・要望が多い。
利用者の意見への対応	施設・設備や展示物のメンテナンス及び点検の充実、老朽化箇所の把握と修繕などの日常業務を徹底する。事業プログラムの新規開発や季節イベント等に合わせた展開などを実施する。複数団体の同時利用の受け入れなど柔軟な団体対応を実施する等、利用者の利便性を第一により幅広い視点で業務に取り組む。

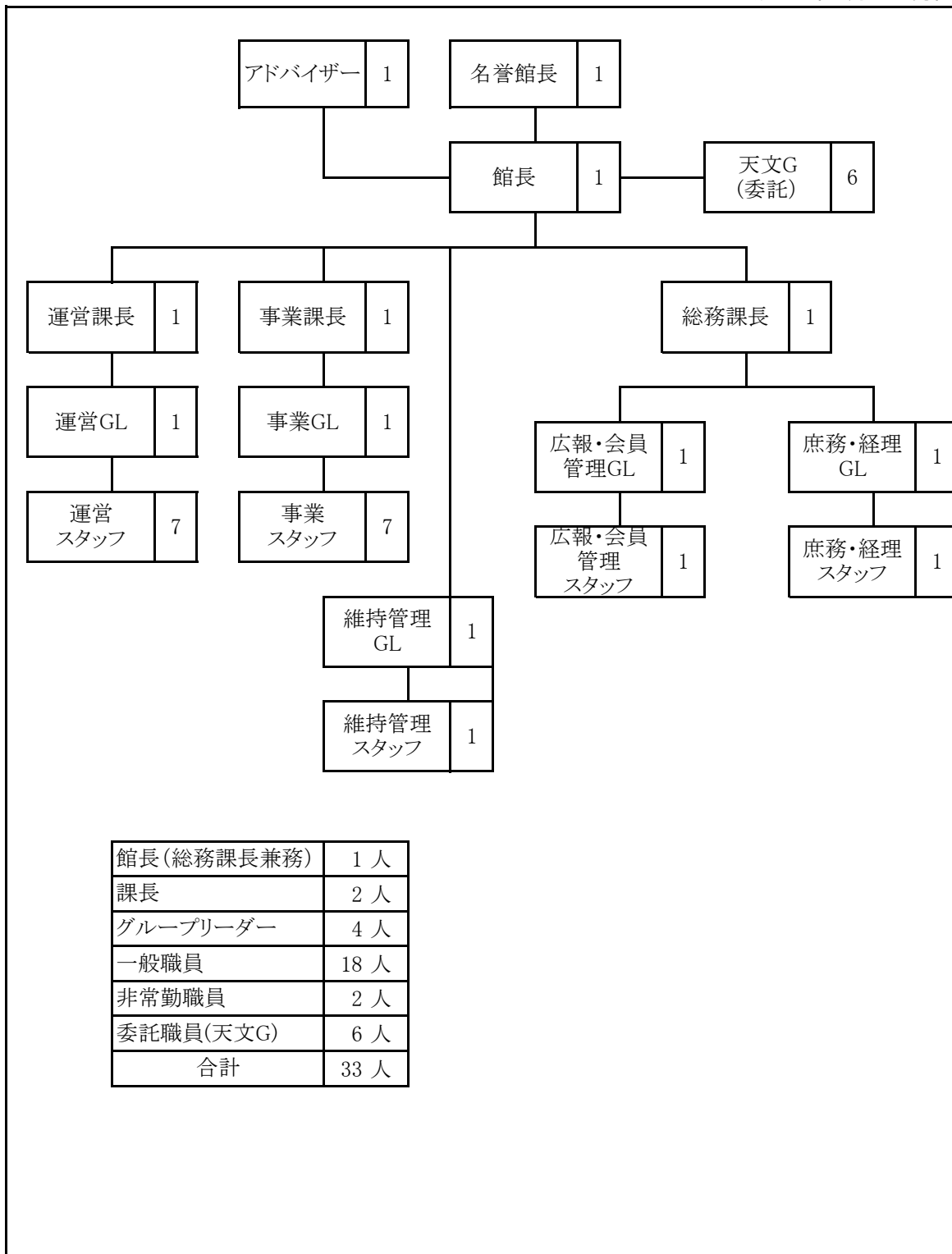
6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<p>施設・設備等の点検を行い、常に安全かつ良好な状態を保持した。適正な機能維持、安全で快適な利用環境を確保するため、保守管理を徹底した。</p> <p>関係法令、関係条例等を遵守したうえで、創意工夫やノウハウを活用し、合理的かつ効率的な業務実施に努めた。</p> <p>環境負荷を抑制し、環境汚染等の発生防止に努めるとともに、省資源、省エネルギーに努めた。</p>	<p>法定点検業務等、施設の管理業務が業務仕様書、業務計画書に基づき適正に実施されている。</p>
運営業務	<p>適切な人員配置により、各事業運営をスムーズに実施した。媒体の見直しによる広報体制の充実及びホームページやSNSによる情報発信等により、利用者の利便性向上に取り組んだ。</p> <p>各種団体や県内企業との連携事業、外部の事業への参加、プログラミング等のワークショップ開催など、より多様な事業の開発・開催に取り組んだ。</p>	<p>運営業務が業務仕様書、業務計画書に基づき適正に実施されている。</p> <p>各種団体や県内企業との連携事業に今後も取り組み、魅力を高めること。</p>
利用状況	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止による臨時休館の影響もあり、入館者数は目標数に達することができなかった。特別展等の既存イベントだけでなくワークショップや季節イベント等の日常的な開催により、さらに入館者数の増加に取り組む。</p> <p>新規プログラムの開発や教育的課題をとらえた事業展開などに積極的に取り組んでいく。</p>	<p>全体的には目標値には至らなかったが、天文事業については観覧者数が増加し、充実した内容であることが評価できる。</p> <p>一度利用した小中学生が再び来館したいと思う魅力的な事業の計画に努めること。</p>
収支状況	<p>利用者数の目標未達に伴い、収入も目標には届かなかった。一方、支出面では委託事業や広報媒体の見直し等に取り組んだ成果もあり、縮減に一定の成果があった。</p> <p>自主事業への取り組みも含め、収入の安定化に努めていく。</p>	<p>運営上の工夫が見られ、収支状況は安定していた。</p>

<p>自主事業</p>	<p>プラネタリウム番組配給事業は現指定管理者が番組の著作権を持つ(管理すること)が前提であり、前指定管理者が旧作品の著作権を持っている現状では、他館への貸出交渉等が困難で、年度内の契約はできなかった。 また「大村智物語」は山梨に特化した部分もあり、現状では貸出できていない。「惑星ドクター」以降の新番組については新年度以降、積極的な営業に努めていく。</p>	<p>プラネタリウム番組配給事業については、いくつかの制約の中で、配給ができない状況であったが、今後、県や前指定管理者とも協議を進めるとともに、令和元年度に作成した番組の配給事業に取り組むこと。</p>												
<p>利用者満足度</p>	<p>四半期ごとにアンケートを集計し、県教育委員会に報告書を提出した。また、アンケート結果に基づき改善ができるものについては、即時に対応する等、利用者満足度の向上に努めた。</p>	<p>子どもクラフトについては、満足度がやや低いので、アンケート回答の内容を詳細に把握し、満足度を高める工夫をしていくこと。</p>												
<p>運営目標の達成状況</p>	<table border="0"> <tr> <td>①入館者数</td> <td>目標値 182,073人</td> <td>実績値 140,703人</td> </tr> <tr> <td>②観覧者数</td> <td>目標値 66,270人</td> <td>実績値 49,809人</td> </tr> <tr> <td>③主催事業参加者</td> <td>目標値 240,000人</td> <td>実績値 193,369人</td> </tr> <tr> <td>④学習利用者数</td> <td>目標値 14,700人</td> <td>実績値 12,378人</td> </tr> </table>		①入館者数	目標値 182,073人	実績値 140,703人	②観覧者数	目標値 66,270人	実績値 49,809人	③主催事業参加者	目標値 240,000人	実績値 193,369人	④学習利用者数	目標値 14,700人	実績値 12,378人
①入館者数	目標値 182,073人	実績値 140,703人												
②観覧者数	目標値 66,270人	実績値 49,809人												
③主催事業参加者	目標値 240,000人	実績値 193,369人												
④学習利用者数	目標値 14,700人	実績値 12,378人												
<p>施設所管課による総合的な評価及び指導事項</p>	<p>施設の維持管理、運營業務等は、基本協定書や事業計画に基づき、概ね適正に執行されている。 主催事業にも創意工夫が見られて、総合的な利用者満足度も高い評価を得られている。 施設の経年劣化に伴い、修繕が必要な箇所が多くなっているが、日々のメンテナンス作業を丁寧に行うことで、修繕の予防ができたり、安全に使用できたりした。限られた予算の中で必要に応じた修繕を効率的に行うことを求めた。</p>													
<p>施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況</p>	<p>施設の維持管理、運營業務は基本協定書や事業計画に基づき、引き続き適正に行っていく。 今後も創意工夫をこらした魅力的な事業を展開し、入館者数の増加を目指していく。 日常的なメンテナンス等により展示物等の管理を徹底するとともに、利用者の安全管理に努め、利用しやすい環境作りを図っていく。</p>													

7 管理体制(組織図)

平成31年4月1日現在



館長(総務課長兼務)	1人
課長	2人
グループリーダー	4人
一般職員	18人
非常勤職員	2人
委託職員(天文G)	6人
合計	33人